

学校再編『教育の中身』と『学校跡地』は？



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 加西の教育3本の矢「加西BASE」、「加西STEAM」、「加西GLOBAL」とは。

答 (教育長) 加西の教育ビジョンですが、加西BASEは子供たちの学習基盤を構築するもので、学習環境の充実、基礎基本の定着、人間力の育成が3つの柱です。学習環境の充実は、少人数授業や複数担任制による手厚い見守りと学習体制の構築、併せて今必要とされるハード面での充実を図りたいと考えます。基礎基本の定着は、単なる知識だけではなく、技能、思考力、判断力、表現力、

そして学びに向かう人間性という総合的な力を育成します。人間力の育成は、人間力の基盤となる非認知能力、そして感性などを高めたいと考えます。

加西STEAMは、各学校の実態とこれまでの取組を生かし、学校の特色づくりとして進めます。加えて、子供たちが感動したり心を動かしたりする体験をさせていきたいと考えます。世界的指揮者の西本智実さんを招いた音楽指導での、子供たちの変化や成長は目をみはるものがあり、何かの形で継続したいと考えています。

最後に、加西GLOBALは、地域や国境を越えて活躍するグローバル人材の育成を目指します。柱は、英語のコミュニケーション能力の向上と国際交流です。外国語教育アドバイザーの採用、小中一貫した英語学習プログラムの開発、フォニックスという英語圏の子供

たちが英語を習うときに学ぶ手法の導入、イングリッシュキャンプの開催、ALTとの一対一の英会話トレーニングなどにより英語力を高めます。国際交流では、時差の少ないオーストラリア等の学校とホームステイを含む海外研修、オンライン会話などを実現させたいと考えます。

問 学校跡地の活用について。

答 (副市長) 貴重な財産を、地域の実情やニーズを踏まえて積極的に有効活用していく計画としています。5月のタウンミーティングにおいて、活用のイメージ図を用いて提案し、地域の声を聞きたいと考えています。

要望 西在田小学校及び日吉小学校の屋外トイレに、大人用温水便座を整備していただきたい。

少子化対策について、高橋市長に問う



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 少子化対策の目標設定について、どのようにお考えか。

答 合計特殊出生率の上昇を目標にしたいと考えています。直近では、令和4年度1.11、令和5年度1.12と、若干ですが上昇しています。令和7年度は1.83、そして、総合計画では令和12年度に2.10を目標にしています。

問 加西市は、5つの無料化をはじめ、子育て世帯に対する様々な支援施策はできていると思う。合計特殊出生率の上昇という目標を達成するには、加西病院

の産科も関係してくるが、市長の考えをお聞きしたい。

答 (市長) 出生数が少ないことについては、一丁目一番地である産科がないことが非常に大きな要因です。産科医の確保は困難を極めますが、新病院建設の際には産科の開業医を誘致するという構想を持っています。

また、人口の減少は全国的な問題であり、歯止めをかけることは非常に難しいと考えます。加西市の特徴として、市外から通勤されている方が1万1,000人以上あります。その1割でも5%でも加西市に転入していただきたいと考えていますが、住宅や教育が非常に大きな要素となると聞いています。

5つの無料化については財政運営に支障のない限り、継続していく必要もあるのではないかと

考えています。

加西市を選んでいただくためには、市の魅力が蓄積されるような施策が必要だと思っています。総合的に魅力を高めて加西市を選んでいただき、人口減少に歯止めをかけて現状維持ができるようにしたいと考えています。

意見 人口減少、少子化対策は、加西市民の交通手段の問題、そして小中学校の統廃合、北条高校の学級減、加西病院の産科の問題、また高齢者対策など、様々な問題の根源ではないかと思っています。出生率をどのように上げていくかということが大変重要ではないかと私も思います。

■その他の質問項目

- ・ 加西インター産業団地と周辺について
- ・ 加西市の公共交通対策について